

活動の目標

私たちは日常的に緊急医療・衛生支援、災害救援の情報等を収集・分析し、蓄積した情報に基づき発災後、迅速に被災者に対し医療・衛生支援を行うとともに、災害後の中長期にわたるメンタルヘルス面での支援を行います。



【スリランカでPP18に参加した際の診療風景】
(アメリカ大使館のfacebookに載りました)



【相馬原に於ける自衛隊訓練研修】



【インドネシア・ロンボク島診療風景】

プライバシーポリシー

皆様からご提供いただいた個人情報については、その取扱いに最善の注意を払い、適切な保護・管理に務めます。

入会申し込みについて

入会金および年会費

(1)入会金	正会員	5,000円
	賛助会員(個人)	5,000円
	賛助会員(団体)	10,000円
	学生会員	5,000円
(2)年会費	正会員	5,000円
	賛助会員(個人)	5,000円
	賛助会員(団体)	1口 10,000円(3口以上)
	学生会員	1,000円
(3)寄付金	任意の金額	

会員の資格

- 正会員 この法人の目的に賛同し、入会した個人及び団体(活動に関する議決権を有します)
- 賛助会員 この法人の目的に賛同し、営利目的でなく本法人の活動に賛同する個人及び団体(活動に関する議決権を有しません)
- 学生会員 この法人の目的に賛同し、入会して活動する学生(活動に関する議決権を有しません)

入会お申込みに関する詳細は、下記事務局までFAX又はメールにてお問合せ下さい。

特定非営利活動法人

国際緊急医療・衛生支援機構

IEMS-Japan(イームス・ジャパン)

東京都台東区浅草橋3-19-3セイワクレスタビル

TEL/FAX: 03-5820-8178

E-mail: info@iems-japan.com

http://www.iems-japan.com

2018年8月現在



特定非営利活動法人

国際緊急医療・
衛生支援機構

平成18年9月設立



連携と情報の共有を大事にします

■ 目的・理念

“災害医療の実践と普及”

—災害から一人でも多くの人を救うために—

近年、続発する大規模な自然災害や多種多様な人為災害には国際的対応が求められています。

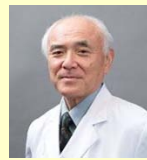
日本の災害医療も飛躍的に発展していますが、迅速な被災地へのアクセス、現地のニーズに即した支援、各支援機関との連携、さらに急性期を過ぎた被災者の心のケアなどは未だに十分ではありません。

私たちはこのような課題を克服するために、災害地の医療や衛生に関する情報収集・分析を常時行い、被災者の心のケアを重視し、定期的なセミナーや講演会を通して活動や研究成果を社会へ発信し、ネットワークを強化していきたいと思えます。

本法人は、幅広い分野における会員相互のコミュニケーションによって、国内外の災害援助機関との連携、情報の共有化を実現し、緊急時に真に求められる災害医療・衛生支援およびメンタルヘルス面の支援を行い、世界の人々が健康で文化的な生活ができる社会の実現に寄与することを理念といたします。

■ 活動の柱

- 被災地のニーズに適った迅速な医療提供
- 被災者へのメンタルヘルスケアの実践
- 自然・人為災害(CBRNE等)に関する情報提供
- 災害と災害後に生ずる諸問題の調査・研究
- 災害に関する講演会などによる組織や人材育成
- 講師派遣による災害医療の普及と啓蒙



設立にあたって

理事長 白濱龍興
元自衛隊中央病院 院長

近年、国の内外を問わず大規模自然災害や人為災害が頻発し、さらに生物・化学剤及び放射線物質による災害の発生も予測され、色々な場面での被災者への迅速な対応が求められる時代になっております。

災害が発生しますと、直後は緊急医療支援を要する外科系疾患が大半を占めますが、次第に防疫・衛生支援を必要とする感染症などの発生の懸念、さらにPTSD等も被災初期から年余にわたり認められます。

私たちは災害直後の被災者に対する医療支援のみならず、被災地の感染症対策の保健・衛生支援やPTSDに対するメンタルヘルスケアなども視野にいたした活動を行ってまいります。

そしてその活動を実効あるものにするために、日常的にアジア諸地域の風土病・感染症などの衛生状況の調査・研究および種々の災害の調査・分析・研究を行い、それぞれのデータ等を蓄積し、それらの情報を多くの関係諸機関や人々に提供します。

私たちは災害医療、保健・衛生、感染症、およびメンタルヘルスケア等に関する講演会やセミナーを開催し、あわせて講師の派遣による災害対応の組織や人材の育成を行い、災害医療の実践と普及・啓蒙に努めたいと思えます。

「災害から一人でも多くの人を救うために」を合言葉に、諸機関等と連携し、情報を共有することを基本方針とし、少しでも市民社会のお役に立ちたいと思えます。

皆様の暖かいご理解とご協力、ご支援をお願い致します。

■ これまでの主な活動

● パシフィックパートナーシップ(PP)

アジア太平洋地域において、米軍、豪軍および各国NGOの協力の下、国際災害救援活動を行う事業です。2012年より毎年医師、看護師を2週間派遣し、医療活動を行っています。

● WAM(独立行政法人福祉医療機構)委託研究

「認知症専門病院における大規模災害時の避難誘導マニュアル作成事業」、「独居老人世帯の新型インフルエンザ対策事業」

● ニュースレターの発行

年に1回活動内容をまとめたニュースレターを発行しています。

■ 役員一覧 (2018年4月現在)

理事長	白濱 龍興	元自衛隊中央病院 院長
副理事長	桑原 紀之	元自衛隊中央病院 保健管理センター長
理事 (アイウエ順)	赤沼 雅彦	日本医科大学 成田国際空港クリニック 所長
	石原 哲	医療法人伯鳳会東京曳舟病院 名誉院長
	亀田 俊忠	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 名誉理事長
	加來 浩器	防衛医科大学校 防衛医学研究センター 教授
	門脇 淳子	元防衛医科大学校病院看護部長
	北川 玲子	東北文化学園大学 看護学科研究室
	金子 淳一	医療法人社団蓮田よつば病院 事務部長
	黒岩 宙司	医療法人徳洲会山北徳洲会病院 院長
	新地 浩一	佐賀大学教育研究院 医学域医学系 教授
	白濱龍太郎	RESM新横浜・睡眠メディカル ヘルスケア院長
	千田 良	株式会社ノルメカエイシア 代表取締役
	西山 正徳	一般社団法人メディカルプラットホーム・エイシア 理事長
	箱崎 幸也	医療法人社団元氣会横浜病院 病院長
	藤井 達也	社会医療法人 河北総合病院 副院長 安全感染管理 室長
	山口 芳裕	杏林大学医学部救急医学 主任教授
監事	徳吉 正二	元陸上自衛隊衛生学校 教育部長
	石綿 成行	元自衛隊中央病院薬剤課長